

陪審法案特別委員會會議事速記録第五號

大正十二年三月十六日(金曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ是カラ開會致シマス、本日ハ第五條カラ第七條マデ審議シタイト思ヒマス

○河村讓三郎君 此六條ニ依リマシテ法定陪審ヲ辭退シ、又ハ請求陪審ヲ取下グルコトガ出來ルヤウニナリテ居リマスコトハ、裁判權ヲ擁護スルコト云フコトヨリモ、被告人ノ權利ノ保護ト云フコトニ、一層重キヲ置クノ精神デアラウカト存ジマスガ、果シテサウ云フコトデアリマセウカ、ドウデゴザイマスカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ併セテ伺ヒテ置キタイノハ、陪審員ノ評議ニ付シタル事件ハ、一審ニテ同時ニ終審デアリマス、上訴スルコトヲ得マセヌ、故ニ多クノ場合ニ於テ陪審ニ付サレルヨリモ、寧ロ裁判所ノ裁判ヲ受ケテ上訴スル、上訴ノ途ガ開カレテ居ル方ガ利益デアアル、殊ニ新シイ刑事訴訟法ガ實施ニナリマスレバ、大審院ニ於テ事實ノ判斷ヲ受ケル便利モアリマスノデ、陪審ヲ望ムナイト云フ者ガ意外ニ多クアデ、陪審法ノ適用ヲ要スル場合ガ極メテ少ナイヤウナ結果ニナリハスマイカト云フヤウナコトヲ考ヘラレマスガ、當局ハ如何ニ御認メニナリテ居リマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 陪審ノ評議ニ付スル特別ノ手續ヲ致シマスノハ、裁判ノ結果ニ付テ、被告人ヲシテ満足セシムルト云フコトガ、一ツノ大ナル理由ニナリテ居リマスカラ、被告人ガ素人デアアル、陪審員ノ評議ニ付シテ斷ズルコトヲ好マス、斯ウ云フ場合ニ強ヒテ其決議ヲ採ルト云フコトハ、其結果ニ對シテ被告人ヲ悅服セシムル所以デ無イ、ソコデ此法案ニ於テハ被告人ノ意志ニ反シテ無理ニ陪審ヲ強ヒル、斯ウ云フ主義ハ適當デナイト云フ理由カラ、辭退ヲ認メルコトニナリテ第ニ次デアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ、是ハ陪審ノ評議ニ付シテ判決ヲ受ケテ、第二審ノ審理ト云フコトガ認メラレナイ手續ニ却テ満足スル者モアリマセウシ、或ハ事實審ノ二審級ヲ認メラレテ居ル所ノ所謂官僚裁判ノ方ニ満足スル者モアラウト思フ、是ハドウモ人ニ依リテ各、考ガ違フノデアリマスカラ、實際ノ結果ヲ見ナイト云フト、豫メドウデアラウト申スコトハ困難デアリマスケレトモ、併ナガラ必ズ二審級ノ事實審ヲ經ル手續ヲ一般ニ希望シテ、陪審ヲ辭退スルト云フコトガ非常ニ多イ、殆ド陪審手續ニ掛カル者ハ無イ位ニナラウト云フコトハ、當局トシテハ考ヘテ居リマセヌ、唯サウ云フヤウナ希望ノ者モアルカラシテ、被告ノ意思ニ反シテハ陪審ニ掛ケナイ、斯ウ云フ原則ヲ取ツタ次第デア

リマス

○委員長(公爵二條厚基君) 御質問ガナイヤウデアリマスカラ、先ヘ進ミタイト思ヒマス、第八條カラ第十一條マデヲ一括シテ議題ニ供シマス

○河村讓三郎君 此十一條ノ規定ハ、ドウ云フ理由デ出來タモノデアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 是ハ此事件ノ性質、或ハ被告人ニ伴フ事情ト云フヤウナ、特別ノ理由ガアリマス時ニハ、其地方ノ陪審員ノ評議ニ付シテハ、ドウシテモ評議ガ中正ヲ失スルト云フ虞ノアル場合ガアルト考ヘマスノデ……

○河村讓三郎君 チョット中言デアリマスガ、私ハ十一條ノ規定ノ理由ヲ伺ヒタデアリマス

○政府委員(林頼三郎君) ソレデハ私ガ誤解シテ居ッタノデス、十一條ハ陪審ノ評議ト云フモノハ第一審ニ限ルノデアリマシテ、上訴裁判所ニ於テハ陪審ノ評議ニ付スルト云フコトハ全然シナイト云フダケノ意味デアリマス、チョット御尋ノ點ガ……

○河村讓三郎君 其理由ガ分ラナイ、ナゼサウナデ居ルカト云フ……モウ一應申シマスガ、是ハ上訴ニ於テハ陪審ノ評議ニ付スルコトハ出來ナイト云フ規定ト解シテ居リマスガ、ナゼサウナデ居リマスカ、陪審ハ一審ノ時カラデナケレバナラスト云フ規定ヲサレタ理由ヲ伺ヒタイデアリマス

○政府委員(林頼三郎君) 此法案ニ於キマシテハ、陪審事件ト云フモノガ法定陪審ノ請求陪審トニナリテ居リマシテ、法定陪審ニ付テモ辭退ガ出來ルト云フコトデ、被告人ノ意思ニ依リテ陪審ノ評議ニ付スルカドウカト云フコトガ、大體ニ於テ左右出來ルヤウナ關係ニナリテ居リマス、ソレデアリマスカラ被告人ガ陪審ノ評議ニ付シテ判決ヲ受クルコトヲ欲スルカ、又ハ通常ノ手續ニ依リテ判決ヲ受クルコトヲ欲スルカト云フコトハ、第一審ノ手續ニ極メルコトニナリテ居ルノデアリマス、又被告人ハ第一審ノ手續ニ於テ之ヲ判斷スルダケノ十分ノ時間ガアリマス、ソレデ第二審ニ至リテ始メテ陪審ノ評議ニ付シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトマデノ自由ヲ認メル必要ハナイト考ヘテ居リマス

○河村讓三郎君 ソレデケデハ十分ニ了解イタシ兼ネルデスガ、辭退トカ取下トカ云フコト、上訴ニ於テハ陪審ノ請求ヲ許サヌト云フコト、何カ關係ノアルヤウナ御説明デアリマシタガ、ドコニサウ云フ關係ガアルカ分ラヌ、ソレカラ陪審ニ付スルナラバ第一審ノ時ニ付スルノガ當然デ二審ニ行ッテ

カラ付スルト云フヤウナコトハ適當デナイト云フダケノ御説明ニ伺ヒマシタガ、ソレガモウ少シ、ナゼ一審ノ時ニセヌケレバモウイケナイト云フ、何カ理由ガアルダウト思ヒマスガ、其點ヲモウ少シ明カニ伺ヒテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(林頼三郎君) 或ハ御尋ノ趣意ヲ誤解シテ居デ答ヘマシタ所ガ、シツクリ御問ニ合ヌヤウナ所ガアタカモ知レマセヌガ、要スルニ法定陪審デアリマスレバ、被告人ノ辭退セヌ限リハ、第一審ニ於テ陪審ノ評議ニ付スルノデアリマスカラ、上訴審ニ於テ更ニ陪審ニ付セラル、必要ハナイ、請求陪審デアリマスレバ第一審ニ於テ法律ノ定メタ通り、請求セント欲スルナラバ請求スレバ宜シイデアリマス、第一審ニ於テ普通ノ手續ニ依ルコトヲ相當ト認メテ、普通ノ手續ニ依リテ判決ヲ受ケタ後ニ、控訴スルコトニナリテカラ今意度ハ陪審ニ付シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ所マデ被告人ノ思ノ自由ヲ認メル必要ハナイト思ヒマス、陪審ニ付シテ判決ヲ受クル手續ヲ欲スルカ、通常ノ手續ヲ欲スルカト云フコトハ、第一審ノ手續ニ極メレバ宜シイノデ、上訴審ニ於テ通常ノ手續ニ依ルカ陪審ニ付スルカト云フコトヲ決スルト云フコトハ許サナイ、斯ウ云フ趣意ト考ヘテ居リマス

〔速記中止〕

○副委員長(河村讓三郎君) 速記ヲ始メテ……別段御質問ナイヤウデアリマスカラ、第二章ニ這入リマシテ、十二條カラ十六條マデ議題ニ供シマス、此席カラ質問イタシマスガ、陪審員ノ資格ヲ十二條ノ四號ニアリマスル讀ミ書キヲ爲シ得ルコト、決メマシタノハ、是ハ外國ニモサウ云フ例ガアルノデアリマス、ドウ云フ御考デアリマス、ソレカラ斯ウ云フ風ニ決メマスルト云フト、資格ノ有ルモノハ餘ホド多イダウト思ヒマスガ、凡ソ全體デ何人位アルト云フヤウナ御調ガアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 此十二條ニ於テ定メラレタ四ツノ資格デアリマスガ、是ハ大體ニ於テ穩健ナル常識上ノ判斷ヲ持ツ者ニハ、此資格ガ適當デアラウト云フ精神カラ來テ居ルノデアリマシテ、第四號ニ於キマシテハ、日常ノ用務ヲ處辨スル程度ノ讀ミ書キガ出來ルモノノ意味デアリマス、サウスレバ一通リノ常識ハアルト云フコトニ極メルコトガ出來ルダラウト考ヘ、何カ此或ル形式的ノ標準デモ定ムルコトガ出來レバ見分ケヲスルノニ實際上非常ニ樂デアリマスカラ、今日ノ我國ノ實狀ニ於キマシテ、例ヘバ義務教育ヲ卒ヘタトカ、中學校ノ教育ヲ卒ヘタトカ、形式的ノ標準デ極メルコ

トハ實際上出來マセヌ、小學校教育或ハ中學校教育ヲ受ケテ居ラヌモノモ現代ニ澤山アリマス、サウシテソレ等ノ人デ陪審員ニ取テ適當デアルト認メラレル人ノアルト云フコトハ、是ハ明白ノコトデアリマス、ソレデ形式上ノ標準ヲ選ケマシテ、サウシテ實質ニ依テ讀ミ書キヲ爲シ得ルト云フ、斯ウ云フコトニシマシタ、之ヲ陪審資格者名簿ヲ作ルモノガ能ク調ベタ上ニ名簿ニ書キ上ゲルト云フ、斯ウ云フコトニ致シマシタ、外國ノ立法ニ於テモ矢張り讀ミ書キヲ爲シ得ルト云フコトヲ、陪審員資格トシテ定メテ居ラヌモノモゴザイマス、御尋ネハソレデケデゴザイマシタカ

○副委員長(河村讓三郎君) 人員ハ幾ラ位デアルカ

○政府委員(林賴三郎君) 人員ノ點ハ明白ニ御答申スコトハ、今日ニ於テハ困難デアリマス、大體ニ於キマシテ衆議院議員ノ選舉資格ヲ有スル者ト基キ相違アルマイト考ヘマス、サウ致シマス、大正九年ノ五月十日ノ現在ニ依リマス、三百三十八萬八千九百一十一人、之ガ衆議院議員選舉權ヲ有スル者ニテ居リマス、從テ陪審員有資格者ノ數モ、大體此位ノ見當ニナルト考ヘマス

○副委員長(河村讓三郎君) モウ一ツ伺ヒマス、常識ヲ具ヘタモノデアルト云フコトヲ認ムル標準トシテ、國稅三圖以上ノ納メタルコトシマシタノハドウ云フ理由デアリマスカ

○政府委員(林賴三郎君) 此ノ國稅三圖以上ト云フコトヲ定メマシタト云フ理由ハ、他ニモアリマス、即チ陪審員トナテ裁判所ニ出テ、審理ノ手續ニ參與スルト云フコトハ、國民ニ取テハ非常ナ負擔デアリマス、陪審員トシテ相當ノ時間ヲ費シテ、サウシテ別ニ是ニ對シテ報酬ヲ受ケル譯デハナイノデアリマス、旅費ト僅カバカリノ日當ヲ得ル位ニ過ギヌノデアリマス、九ツキリ資産ノナイモノデアルト、ソレガ爲メ生計上ニモ非常ニ差支ヲ生ズル虞ガアリマス、矢張り相當ノ資産ナリ收入ナリガアデ、一日ヤ二日陪審員トシテ裁判所ニ出テモ、甚ダシク迷惑ヲ感ジナイト云フヤウナコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、要スルニ陪審員ト云フコトハ國民ニハ重負擔デアリマス、ト云フヤウナ所カラ、納稅資格者ト云フコトヲ條件ニ決メマシタ次第デアリマス

○副委員長(河村讓三郎君) ソレデハ尙ホ、一年以上同ジ所ニ居ラヌコトヲ必要トセラレタ理由ニ付テモ序ナガラ説明ヲ願ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 是ハ要スルニ住所ノ定ラズ、諸方ウロ付イテ居ルヤウナ、所謂風來者デゴザイマス、サウ云フヤウナ者カラ、穩健ナル意見ヲ聽クト云フコトハ、大多數ノ場合ニ於テ困難デアラウト云フコトモアリマス、又名簿ヲ作成スルトカ、或ハ呼出シラストカ云フヤウナ場合ニ於テモ、宛ニ角或所ニ定住シテ居ルヤウナト云フコトガ、極メ

テ都合ガ好カラウト云フ考カラ出テ居ルノデアリマス

○花井卓藏君 陪審員ハ國民ノ司法ニ參與スル權利ト見テ居ラレルノデアリマス、義務ト見テ居ラレルノデアリマスカ

○政府委員(林賴三郎君) 權利デアルト同時ニ義務デアルト、斯ウ云フ風ニ見テ居リマス

○花井卓藏君 公判ノ準備規定アル立法例ト、公判準備ノ規定ナキ立法例、及ビ公判準備ヲ公開スル立法例、是ヲ秘密ニスル立法例、是ヲ承リタイノデアリマス

○副委員長(河村讓三郎君) 何條デスカ

○花井卓藏君 七條デアリマス、...

○副委員長(河村讓三郎君) 七條ハ濟ミマシタガ、今ハ...

○花井卓藏君 ドノ條文ニモ關係スル...

○政府委員(林賴三郎君) 何レ取調ベテ申上デマス

○富谷銈太郎君 序ニモウ一ツ願ヒタイノデスカ、多分參考シテ交付サレタ外ノ制度ヲ見タラ分ルデアリマセウケレドモ、此陪審員ノ資格ヲ定メルニ付テノ手續ガ、此法案ト違テ居ル所ガアルヲラウト思ヒマス、其例ヲ一ツドウ御取調ヲ願ヒタイ、茲デ此名簿ヲ作テ、其中カラ裁判所ガ決メル譯ニナテ居リマス、選舉ニ依ルトカ其外又何カ良イ方法デモアリマス、其コトヲ一ツ調ベテ貰ヒタイ、ナヨット其コトヲ伺ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 今御尋ノコトハ、此前御手許ニ差上デデアリマス陪審法、大體裁テ居リマス

○富谷銈太郎君 アレヲ調ベタラ分リマセウガ、アノ外ニモ變タモノデモアラウカト云フコトヲ伺ヒマス、例ヘバ米國ノ如キ色モ違テ居ルコトモアリハセヌカト思ヒマス、亞米利加ニハアリマセヌカ

○政府委員(林賴三郎君) 大體ニ於テハ御手許ニ上デアルノトエライ違ヒハナイヤウデアリマス、細カイ所ハ無論違ヒガアリマス、...唯米國ノコトヲ此前御尋ガアリマシタガ、州ニ依テ各違テ居リマス、併シソレヲ今御手許ニ差上デラダケノ準備ハ出來テ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○富谷銈太郎君 花井委員カラモ請求ニナツヤウデスカ、皆御調ベニナルコトハ餘程困難デアリマセウ、一ツデモ二ツデモ參考ニナルモノガアルト思ヒマス、異ナルモノガアレバ調ベテ貰ヒタイ、米國ノ法制ハ多分司法省ナリ、帝國大學ナリ、何所カ内閣ノ書庫アタリニアリハシナイカ、何所ノ州デモ調ベテ下サルヤウ、是非ト云フ語デアリマセヌガ、出來マスカラ一ツドウ御調ベヲ願ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 一ツ能ク調ベテ見マシテ、若シ出來マシタナラバ差上デマスデゴザイマス、時ガ十分アリマ

セヌノデソコ迄行ウマカ知レマセヌガ、ソレハ其程度デ御承知ヲ願ヒマス

○橋本辰二郎君 第十二條ノ第一號カラ三號、是ハ衆議院ノ選舉權被選舉權ニ類似シタヤウナ規定デアリマス、第四號ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノト云フコトハ、普通ノ用事ヲ辦ズル者ヲ以テ足レリト云フコトハ、事實ノ認定ニ付テハ、矢張り特別ノ知識ヲ要シハシナイカト思フノデアリマス、其犯罪ノ動機トカ、豫備行為、若クハ手段トカ、ソレ等ニ關シ素人ニ於テ是ヲ判斷スルト云フコトハ餘程困難デアデ、矢張り特別ノ知識經驗ヲ要スルモノト思ヒマス、唯讀ミ書キヲ爲シ得ル位ノモノニ於テ十分ニ事實ノ認定ノ爲ニ得ル、而シテ其認定ガ正鵠ヲ得タルモノト御認メニナリマス根據ハ、何所ニアルノデアリマスカ

○政府委員(林賴三郎君) 法律問題デアリマス、勿論專門ノ知識ヲ必要トスルノデアリマス、陪審員ノ評議ニ出マスノハ、事實ノ有無ケデアリマス、即チ多クノ證人、其他ノ證據ヲ公判廷ニ於テ十分調ベマシテ、陪審員ハ其全部ノ調ベニ立會テ、能ク是ヲ聽イテ居リマス、ソレカラ其結果ニ付テ檢事、辯護人等カラ辯論ガアリマス、其後ニ於テ裁判長ガ事實關係、證據關係等十分ニ説明イタシマス、ソコデ果シテ檢事ガ訴ヘル事實ガアルカナイカト云フ、事實ノ有無ノ判斷ヲシマス、ソレデアリマス、普通ノ常識ヲ備ヘテ居リマスモノナラバ、分リマス關係ニナリマス、是ハ歐羅巴ノ陪審制度デハ、此陪審法案ノ十二條ニ定メタ程、喧シイ要件モナイ國ガ多イノデアリマス、ソレガ矢張り陪審員トシテ職務ヲ行ヒ來テ居リマス、常識ガアレバナシ得ル事柄デアルトデスカ、特別ノ知識ハ要シマセヌ次第デアリマス

○橋本辰二郎君 唯今ノ御説明ノ通りト致シマシタナラバ、辯護士ヤ檢事、若クハ裁判長ノ論告ノ巧拙如何ニ依テ、陪審員ノ動カス效果ガ大ナルモノガアラウト思ヒマス、或ハソニ依リマシテ自己ノ判斷ヲスル上ニ於テ、ソイ其檢事若クハ裁判長ノ論告ニ動カサレテ、妙ナ事實ノ認定ヲスルヤウナコトガアリ得ベキコトト私等ハ思ヒマス、サウ云フコトハ無イト御認メニナテ居ルノデスカ

○政府委員(林賴三郎君) 無論此檢事ナリ辯護人ナリノ辯論ト云フモノガ、陪審員ノ頭ニ影響ノアルト云フコトハ當然ノコトデアリマス、併シ各面カラ辯論ヲ致シマス、利益ノ方面、不利益ノ方面、ソレガ殘ラズ法廷ニ現ハレルノデアリマス、ソコデ最後ニ裁判長ガ有ラユル關係ヲ綜合シテ、サウシテ適當ニ分カルヤウニ説明ヲ致シマス、ソレデカラ、陪審員ガ其爲ニ一方ニ片寄ルト云フヤウナ虞レガ、始終アルト云

フコトハ考ヘラレマセヌ、特ニ陪審員ハ十二人評議ヲ致シマスカラ、一人二人片寄ル者アリテモ、全體トシテハ甚シク片寄ルト云フコトハ起ルイト思ヒマス、殊ニ此法案ニ於キマシテハ、御承知ノ通り陪審員ガ評議ヲシマシテ、ソレガ如何ニモ片寄リ居テ不適當ト認メレバ、裁判所ニ於テ更ニ新シイ陪審ノ評議ニ付スルト云フコトニナシテ居リマス、結果ニ於テ御心配ノヤウナコトハアルイト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 是ハ能クアルコトデアリマスガ、其事柄ニ對シテ特別ノ知識ヲ持タナイ者、若クハ十分ニ理性ノ發達セザル人ハ、雙方ノ辯論ヲ聽キマシテ、ドチラモ尤モアル、右ヲ聽イテ見レバ右ガ尤モデ、左ノ論告ヲ聽ケバ左ノ方ガ尤モアルト云フヤウナコトデ、取捨ニ迷フヤウナコトガ起リハシマセヌカ、サウ云フコトニ付テハドウ云フコトデゴザイマス

○政府委員(林頼三郎君) ソレハ其人ニ依テ隨分ドナラニ決メテ宜イカト云フコトノ分ラヌト云フコトモ、或ハ全然起ラヌト云フコトハ言ヘマイト思ヒマス、是ハ專門家デモ同様デゴザイマス、結局刑事問題ヲ決スル場合ニ於テハ、事實ガアル、有罪アルト云フコトニ確信ヲ生ジナケレバ、結局無罪ト云フコトニナリマス、雙方ノ辯論ヲ聽イテ、ドウシテハ斯ウ云フ犯罪事項ヲ犯シタノデアルト云フコトニ、確信ガ起ラヌト云フコトデ、結局消極ノ方ニ決セラレルト云フコトニ歸シマス

○橋本辰二郎君 此陪審員デ右若クハ左ノ詰リ有罪カ無罪カト云フガ如キ答辯ヲ爲シ得ザリシ場合ニハ、ドウナルノデアリマス

○政府委員(林頼三郎君) 爲シ得ザリシト云フコトハ、チヨトドウ云フ御趣意カ諒解シ兼ネマスガ、此法案ニ依リマススト云フト、陪審員ハ必ズ意見ヲ表示スル義務ガアルト云フコトニナシテ居リマス、ソコデ犯罪事實アリト云フ意見ガ過半数デアレバ、此肯定ノ答申ヲスルト云フコトニナシテ居リマス、ソレデスカラ實際的ニ申セバ、御尋ネノヤウナ場合ハ結局犯罪事實アリト云フ意見ガ過半数ニ達シナイ、斯ウ云フコトニナルノデアアルイカト考ヘマス

○副委員長(河村謙三郎君) 第十六條ノ中ニ掲ゲテアリマスモノニシテ、十四條ノ方ニ何故這入ラヌカト云フ疑ノアルモノモアリマスシ、十四條ノモノガ十六條ノ中ニ這入リテ宜ササウナモノモアリマスガ、十四條ノモノト十六條ノモノト、ドウ云フ標準ニ依テ區別ガ出來テ來マス

○政府委員(林頼三郎君) 十四條ニハ色ミノモノノ上デテアリマスノデ、從テ十四條ノモノハ、何故ニ陪審員ノ職務ニ就カシメヌカト云フコトモ、各異ナル事柄デアリマス、第十六條ト關係ニ於テ申セバ、要スルニハ程度ノ問題デアリマス、十四條ノ方ハ先ヅ大體ニ於テ一般的ノ職務ニ就カ

シムルコトガ不適當デアル、併ナガラ十六條ノ方ハ各場合ニ於テ決スレバ宜シイ、例ヘバ六十歳以上ノ者デアリマシテモ、非常ニ達者ナ者モアリマスシ、又衰ヘテ陪審員ノ職ニ就カシムルコトガ出來ナイ人モアリマス、六十歳以上デアルガ爲ニ一様ニ決スルト云フコトハ實際的ニ考ヘテモ適當デナイ、又官吏公吏教員ト云フコトモ亦隨分廣イ、此中デ一般的ニ考ヘマシテ不適當デアルト云フ者ハ十四條ニ掲ゲテアリマス、官吏モ相當ニ掲ゲテアリマスシ、小學校教員ト云フモノハ十四條ノ方ニアリマス、其他ノ者ハ實際ノ事情ニ從テ陪審員トシテ職務ヲ行フト云フコトガ困難デアル、色々差支ガ起ルト云フヤウナ場合ニ於テ、辭退ヲスルコトヲ認メレバ、ソレデ宜カラウト云フヤウナコトデ、此區別ガ出來テ居リマス、又第三號ニ貴族院議員、衆議院議員其他ノ議會ノ議員、斯ウ云フ方ニハ會期中ニ於テハ實際ノ事情ニ從テ、陪審員トシテ職務ヲ執ルト云フコトハ色ミノ方面ニ於テ差支ガ起ルト云フコトガゴザイマス、併シソレモ常ニサウデアルト云フコトハ言ヘナカラウト思フ、故ニ實際ノ事情ニ從テ、陪審員トシテ職務ヲ執ルト云フコトガ困難デアルト云フナラバ、辭退ヲシテモ宜シト云フ考デアリマス

○副委員長(河村謙三郎君) 收税吏ヲ十四條ノ中ニ掲ゲラレマシタノハ……

○政府委員(林頼三郎君) 收税吏、税關吏、專賣官吏、是ハ殆ド同様ノ者デアリマス、是等ノ者ノ職務ト云フモノハ、陪審員トシテ裁判所ヘ引上ゲルト云フコトニナルト云フト、實際ニ於テ差支ガ起ルノデアリマスガ、是ハ始終役所デ事務ヲ執ルト云フヤウナコトマデナクテ、諸方ヲ出歩イテ職務ヲ執ルト云フヤウナコトガ、多イト云フ關係デアルカラ、ソコデ斯ク許シマシタ次第デアリマス

○副委員長(河村謙三郎君) 外ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、十七條カラ二十五條マデ議題ト致シマス

○花井卓藏君 私ハ速記ハ要リマセヌ

○副委員長(河村謙三郎君) 速記ヲ止、テ……

(速記中止)

○副委員長(河村謙三郎君) ソレデハ速記ヲ……

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ御尋ネノ點ハ、法文ニ大體明カニナシテ居ル事柄ニ屬スルノデスガ、多少法文ノ順序等ガ事柄ノ順序カラ云ヒマス、前後シテ居ルヤウニ思ヒマスルガ、大體實際上ノ方面カラ、ドウ云フ風ニナルカト云フコトヲ申上ゲテ見タイト考ヘマス、實際ノ手續ヲ申シマス

アルノデゴザイマス、法文カラ申シマス中程ノ二十二條ニアルノデ、九月一日迄ト云フノデアリマシテ、七月或ハ八月頃ニハヤルコトニナルト考ヘテ居リマス

○花井卓藏君 マダ速記ハ要リマセヌ

(速記中止)

○花井卓藏君 速記ヲ始メテ……

○副委員長(河村謙三郎君) 速記ヲ……

○政府委員(林頼三郎君) ソコデ市町村長ガ市町村ニ割當テルノハ如何ナル標準ニヨルカト申シマス、是ハ大體ニ於テ陪審員有資格者ノ數ヲ標準トシテ、翌年ノ事件數ヲ豫想シマシテ、サウシテ按分比例デ各町村ニ割當ルト云フコトニ原則ハヤルト考ヘマス、併ナガラ陪審法ヲ實施イタシマスル初年ニ於キマシテハ、陪審事件ノ數ト云フモノガ明確ニハ分リマセヌノデ、大體ノ見込ヲ立テマシテ、サウシテソレヲ標準トシテ有資格者ノ數ニ按分シテ、各町村ニ割當テ

ル、併ナガラ裁判所附近ノ市町村ニ於キマシテハ、時トシテハ補充陪審員トシテ呼出サレルト云フアリマスカラ、按分比例ト申シマシテモ、必ズシモ正確ニ參ルト云フコトハムツカシカラウト思ヒマス、矢張り附近ノ町村ニ於テハ、外ノ町村ヨリハ比較的多クノ陪審員ノ員數ヲ割當テル必要ガ起ラウトハ考ヘラレ、併シ大體ハ右様ナ標準デ市町村長ニ割當テタル數ヲ通知スルト云フ、斯ウ云フコトニナリマス、而シテ市町村長ハ如何ナル手續ヲトルカト申シマス、其年ノ九月一日ヲ標準トシマシテ、第十二條以下ニ定メタル資格ヲ有スル者ノ有無ヲ調べマシテ、サウシテ資格ヲ有スル者ヲ陪審員名簿ト云フモノニ登録スルノデアリマス、サウシテ其副本ヲ區裁判所ノ監督判事ニ送ルト云フ手續ヲ致シマス、サウシテ其陪審員ノ資格名簿ト云フモノヲ、十月一日カラ七日間市町村役場デ公衆ノ縦覧ニ供スルト云フ手續ニナリマス、公衆ハ之ヲ縦覧イタシマシテ、陪審員資格者名簿ニ違

法ノ點ガアルト云フト、之ヲ理由トシテ異議ノ申立テヲスル、即チ陪審員タル資格ガアルノニ登録サレテ居ラナイトカ、資格ガナイノニ登録サレテ居ルヤウナ場合ニハ、之ハ異議ノ申立テヲスルコトガ出來ル、尤モ第三者カラ此者ハ陪審員タル資格ガアルトカナイトカ云フヤウナ異議ノ申立テヲスルコトハ認メテ居ラヌノデ、是ハマア選舉法等ニ於テモ大體左様ナコトニナシテ居リマス、サウ云フ異議ノ申立テガアリマシテ、市町村長ガ異議ガ至當デアルト云フコトニ認メレバ、陪審員資格名簿ヲ修正イタシマス、サウシテ修正シタト云フコトヲ區裁判所ノ判事ニ通知スル、ソレカラ市町村長ガ異議ハ理由ガナイト云フコトヲ認メタ場合ハ、意見ヲ附シテ區裁判所判事ノ方ヘ之ヲ送ル、ソコデ區裁判所判事ハ、異議申立ノ當否ヲ審査シマシテ、異議ノ申立テ理由ガナイト認メレバ、

理由ノナイコトヲ市町村長及ビ申立人ニ通知シマス、理由アリト云フコトニナルト、市町村長ニ對シテ資格者名簿ヲ修正スベキコトヲ命令シマス、市町村長ハ其命令通りニ修正ヲ致ス、斯ウ云フコトニナリマス

○花井卓藏君　チヨットンゴデ私ノハ速記ハ要リマセヌ……
○副委員長(河村謙三郎君)　止メテ……

(速記中止)

○政府委員(林頼三郎君)　ソコデ修正ノ名簿ニ依ッテ、

〔委員長公讀ニ條厚基君委員長席ニ著ク〕

市町村長ガ修正ヲスルノデアリマスガ、此場合ニ於テハ、更ニ縦覽ト云フコトハ許シマセヌ、從テ異議ト云フコトモナイ關係ニナル、ソレハ此場合ニ於テ縦覽ヲ許シ異議ノ申立ヲ許スト云フコトニナリマス、陪審員名簿ノ確定スル時期ト云フモノガ段々遅クナッテ、又ヤリ方ニ依ッテハ確定スル時期ガナイト云フコト、一面ニ於テハ資格ガアルカナイカト云フコトヲ區裁判所ガ判斷スルコト云フ、實際的ニ考ヘテ、ソレハ殆ド間違ヒガナイ、ソレデアリマスカラ、市町村長ダケノ判斷デアリマスレバ、ソレハ異議ノ申立ノ必要モアリマスケレドモ、苟モ區裁判所判事ガ異議ノ申立ヲ審査シテ、サウシテ決定ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ以上ハ、其決定ト云フモノハ實際的ニハ誤リガナイト申シテ宜シノデアリマス、重ネテ縦覽ヲ許シ、異議ノ申立ヲ許スト云フ必要ハアルマイト思ヒマス、ト云フコトモ一ツノ理由デアリマス、又資格者名簿ニ記載サレタモノデアリマスモ、若シ資格ガナイト云フコトニナリマスレバ、公判廷ニ於テ之ヲ脱退スル方法モ設ケテアルノデゴザイマス、實際上カウ考ヘマシテ、マア其必要ガナイト云フコトニ、此法案ニ於テハ定メテ次第デアリマス、ソコデ陪審員資格者名簿ガ茲ニ出來上リマスルト、其次ニハ抽籤ヲ致シマシテ、前ニ申シマシタ地方裁判所長カラ割當テマシタ、陪審員ヲ……陪審員候補者ヲ選定イタシマシテ、之ヲ陪審員候補者名簿ニ登載スル、サウシテ矢張りソレニ付テハ此十一月三十日マデニ地方裁判所長ヘ之ヲ送テ、サウシテ其名簿ト云フモノハ地方裁判所ヘ保存サレハ、斯ウ云フ大體關係ニナルノデス、其今申シマシタヤウナ資格者名簿ヲ作リ、候補者名簿ヲ作ルヤウナ事柄ノ全體ニ付テハ區裁判所判事ガ監督權ヲ有テ居リマス、適當ニ指示イタシマシテ、サウシテ誤リナイコトヲ期スルト云フノガ、大體ノ筋途ニナッテ居リマス

○花井卓藏君　解リマシタ
○橋本辰二郎君　只今ノ御答辯ニ依リマシテ、資格者名簿ヨリ抽籤スル數ハ、裁判所ヨリ命令シタ方ノ委員ダケニ止メルノデアリマスカ
○政府委員(林頼三郎君)　左様デアリマス

○橋本辰二郎君　私ハ實ハ甚ダ何デスガ、マダ此法文全體ヲ通覽シテ居リマセヌガ、此陪審員ハ任期ガアルノデアリマスカ、又ハ一事件毎ニ陪審員ハ改メラレルノデアリマスカ
○政府委員(林頼三郎君)　一年間ダケ陪審員トシテ其任ニ當ルコトニナッテ居リマス

○橋本辰二郎君　サウ致シマス、市ニ關係イタシマシテ、詰リ市ナラ市デ起リマシタ所ノ犯罪ノ陪審員ハ、市ヨリ選出セラレタル陪審員ノ評議ニ付シ、若クハ郡部ニ於テ起タル犯罪ノ評議ハ、郡部ヨリ選舉セラレタル陪審員ノ評議ニ付ス、サウ云フ區別ガアルノデアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君)　其點ハ一地方裁判所管内ガ共通ニナッテ居リマスカラ、市ニ起ル事件デアルカラ、其市ノ陪審員ノミガ出ルト云フ關係デアリマセヌ、地方裁判所長ガ豫メ市町村ノ順序ヲ定メテ置キマシテ、其ノ市町村カラ一人又ハ數人ノ陪審員ヲ抽籤デ選ビ出シマシテ、其者ガ陪審ノ職務ヲ行フト云フ關係ニナリマス
○橋本辰二郎君　サウ致シマスルト、其陪審員ノ十二名ノ組織ト云フモノハ、其管内全體ヨリ廣ク選擇セラレルト云フコトニナルノデアリマスカ
○政府委員(林頼三郎君)　地方裁判所管内全體カラ選バレルコトニナリマス

○橋本辰二郎君　抽籤ニ依ッテ其資格者ガ確定スルモノトスレバ、隨分ドウモ、何ト申シテ宜シウゴザイマス、餘リサウ云フコトノ評議ニ對スル能力ヲ具備セザル所ノ人モ當選スルコトガ、多クアルコト、豫想セラレルノデアリマスガ、當局ニ於テハドウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君)　先程申上デマシタ通り、此法案ニ定メマシタ資格ヲ備ヘマシタモノハ、一通リノ常識ヲ備ヘテ居ルモノト考ヘマス、併ナガラ中ニハドウモ不適當デアラウト云フ者モナイトハ限リマセヌ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、忌避ト云フ方法ガゴザイマシテ、檢事ナリ被告人ナリカラ、其陪審員ニ對シテ忌避ノ申立テヲスルルト、陪審員ハ其職務ヲ執ルスヤウナ關係ニナリマス、ソレハ後ノ方ニ二段規定ガゴザイマスガ、一ツノ事件ニ付キマシテハ、先ヅ三十六人ノ陪審員ヲ喚ビ出シマス、サウシテ實際其陪審員ノ職務ヲ執ルノハ十二人デアリマス、アトノ二十四人ダケハ檢事及ビ被告人ニ於テ忌避ヲスルコトガ出來マス、ソコデ其三十六人出マス、法廷ハ三十六人ヲ列席サセマシテ、サウシテ裁判長ガ、抽籤ノ函ガアリマシテ、其處カラ陪審員ノ名前ヲ書イタモノヲ一ツ引出シテ、讀上デマス、サウシテ檢事及ビ被告人ノ方カラ其陪審員ハ不適當デアルト思フナラバ、忌避ノ申立ヲシマス、サウスルト其陪審員ハ退ッテ來ル、次ノ札ヲ讀上デマシテ檢事モ宜シ、被告人モ宜シト云フコトニ

ナルト、其人ハ陪審員ニナルト云フコトデ、結局檢事及ビ被告人ガ、其此人ナラバ宜シト云フ結果、十二人殘ルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今御尋ノ如ク不適當ナルモノガアルト云フコトハ考ヘナケレバナリマセヌ、サウ云フモノハ今申シマシタ方法ニ依ッテ除外サレマス、實際殘リマス十二人ハ先ヅ適當ナモノデアルト考ヘラレルト存ジテ居リマス

○橋本辰二郎君　實際ト致シマシテハ、被告人ナリ檢事ナリガ其陪審員ガ果シテ適當ナル資格ヲ備ヘテ居ルモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ判斷スルコトハ困難デアラウト思フ、恐ラク被告ノ如キモノハ、陪審員ヲ忌避スルト云フコトハ到底是ハドウモ豫想シ得難イコトト思フ、勿論其時ニ於ケル有力者ノ犯罪トカ、若クハ其他ソレニ類似スルヤウナ事柄デアレバ、ソレ等ノ被告人ハ陪審員ガドウ云フ性質ノ人デアラドウ云フ資格ヲ備ヘテ居ル人デアルト云フコトハ分リマセウガ、然ラザレバ犯罪ト云フモノハ主ニ此種類ノ人々ニ多ク起ルコトデアリマスガ、ソレ等ノ人々ハ陪審員ニナルベキ人々ト何等交渉ノナイ關係上、其人ガ果シテ適任デアルカドウカト云フコトノ判斷ガ出來ナイ爲ニ、其ノ忌避スルト云フヤウナコトモ、實際ニ於テハ起ラヌヤウナコトガ出來ナイヤウナ場合ガ多カラウト思フノデスガ、ドウ云フモノデアリマセウカヨリモ本人ニ於テ其取捨ヲ判斷スルコトガ出來ナイヤウナ場合ガ多カラウト思フノデスガ、被告ノ手續ニ付キマシテハ、被告側デアハ必ズ辯護人ガ出ナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、本人ガ選バナケレバ裁判所ノ方デ辯護人ヲ付ケルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ被告人自身トシテハ、自分ノ見分ガ困難ナ場合ガアラウト思フノデアリマス、併シ辯護人ガ必ズ附イテ居リマスカラシテ、辯護人ト相談シテ忌避スルカ否ヤト云フコトヲ決スルコトガ出來マスカラ、多クノ場合ニ於テハ御心配ノヤウナコトハナカラウト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君　辯護人ヲ必ズ附ケルト云フコトハ、或種類ノ犯罪ニ付テハ、辯護士ヲ本人ノ望ムト否トニ拘ラス、其意思ヲ問フ所ナクシテ、必ズ之ヲ附スルト云フヤウナ規定ガ定メテアルノデアラウト思ヒマス、私ハ訴訟法ニ暗イノデアリマスガ、又サウ云フ種類ノ犯罪デアナクシテ、本人ノ任意ニ依ッテ辯護人ヲ選バナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ於テ、其ノ本人ノ資力其他ノ點ニ於テ、辯護士ヲ依頼スルコトノ出來ナイヤウナ場合ガアリハシナイカト思ヒマスガ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員(林頼三郎君)　一般ノ訴訟手續ニ於キマシテハ、其ノ事件ノ種類等ニ依ッテ、官選辯護人ヲ附スル規則ハ

ナルト、其人ハ陪審員ニナルト云フコトデ、結局檢事及ビ被告人ガ、其此人ナラバ宜シト云フ結果、十二人殘ルト云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今御尋ノ如ク不適當ナルモノガアルト云フコトハ考ヘナケレバナリマセヌ、サウ云フモノハ今申シマシタ方法ニ依ッテ除外サレマス、實際殘リマス十二人ハ先ヅ適當ナモノデアルト考ヘラレルト存ジテ居リマス

ゴザイマセスケレドモ、此ノ陪審ノ評議ニ付スル事件ハ其事
件ノ種類ノ如何ヲ問ハズ、總テ辯護人ヲ附スルコトニナ
居リマス、若シ被告人ガ無資力ヲ辯護人ヲ附スルコトガ出
來ナイ時ニハ、官選ノ辯護人ヲ附スルソレハ後ノ條文デ
ザイマスガ、總テ辯護人ガ立會ヒマス

○内田嘉吉君 私チヨット遅レテ参リマシタノデスガ、二十
六條ハ質疑ヲシテ宜シイ範圍ニナッテ居リマス

○委員長(公爵二條厚基君) 宜シウゴザイマス

○内田嘉吉君 此ノ二十六條ノ場合ガ起リマスト云フト、
即チ缺員ノ出來ル場合デアリマスガ、此場合ニハ補充ヲサ
スト云フトニナルノデスカ、ソレハ仕方ガナイトシテ、其儘ニナ
ルノデゴザイマスガ、ソレカラ陪審員ニナリ得ル人デモ、六十
歳以上ノ人デモソレカラ其他十六條ニ書イテアル人ハ職務
ヲ辭スルコトガ出來ルノデスカ、是ハ二十六條ノ規定ニハ入
テ居ラヌノデスカ、ソレ等ノ人ハ初カラ其ノ中ニ入ラナイト云
フトコトナルノデスカ、或ハ名簿ニ加ハラナク時ニハ、是ハ
辭スルコトガ出來ルノデスカ、一應質問ガアツタカモ知レマセ
ヌガ...

○政府委員(林賴三郎君) 第一ノ御尋ハ、斯ウ云フヤウ
ナ事柄ガアリマシテモ、別ニ補充ハ致シマセヌコトニナッテ居
リマス、實際ニ於テ補充ヲシマセヌデモ、之ヲ缺クト云フト
ハ起リマセヌ、ソレカラ又十六條ニ掲ゲテアリマスモノハ、是ハ
陪審員タル資格ハアリマスノデスカ、陪審員ハ名簿ニハ載
リマス、其後ニ於テ本人ノ意思ニ依ッテ辭退スルコト云フハ關
係ニナリマス、第一項ノ六十歳以上ノ者ト云フノハ、是ハ先
ツ陪審員資格者名簿ニ載ッテ當時ニ、何時デモ辭退ノ意思
ヲ表示スルコトハ出來ルノデアリマス、併シ在職ノ官吏、教
員、公吏、或ハ議員、此ノ二項三項ニ載ッテ居リマス者ハ、是
ハ實際ノ事件ガ起リマシテ、陪審員トシテ呼出サレマシタ場
合ニ、實際ノ事情ノ上ニ於テ陪審員タルノ職務ヲ執ルコト
ガ困難デアルト云フト時ニ、辭退ノ意思ヲ表示スルト云フト
ニナッテ居リマス

○内田嘉吉君 即チ十六條ニ規定シテアル第一號ハ何時
デモ宜シイ、二號三號ハ其關係ノアル時ニ辭スルコトガ出來
ル、ソレ等ノ人ハ名簿ニ載ッテ後ニモ出來ル、サウシテソレ等
ノ人ガ缺員トナリマシテモ別ニ手續ハシナイ、其儘増員ハシ
ナイ、斯ウ云フトニナリマス、併ナカラ其二十六條ノ中ニ十
六條ノ在職者等ガアル場合ニハ、ドウ云フヤウナ手續ヲスル
カト云フトガ缺ッテ居リハシナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ
モノデゴザイマセウカ

○政府委員(林賴三郎君) 是ハ十六條ノ方ノハ、名簿ニ
ハ關係ハアリマセヌ、矢張り資格ハアリマスノデスカ、名簿
ニハ載ッテ居リマセケレドモ、唯實際ノ職務ニ於テ辭スルト云

フノデスカ、二十六條トハ無關係ノ積リデ居リマス
○委員長(公爵二條厚基君) 御質疑ガナケレバ先キニ進
ミタイト思ヒマス、ソレデハ第二十七條カラ第三十四條一
括シテ議題ニ供シタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 此二十七條ニ依リマス、陪審員ヲ三
十六人選定ヲシテ、其中ヨリ又抽籤ヲスルト云フトデアリ
マスガ、此十二名ノ者ガ一ツノ地方裁判所ノ管轄ノ下ニ於
ケル所ノ、一ヶ年ノ陪審ノ衝ニ當ルコトニナルノデアリマス
カ、又ハ一地方裁判所管轄内ニ於キマシテハ、又多數ノ陪
審員ヲ定メタルデアリマス

○政府委員(林賴三郎君) 此二十七條ニ定メテアリマス
三十六人ハ、其一件事件タケニ付テ陪審員ノ職務ヲ執ルノデ
アリマス、一ヶ年間生ジタ事件ニ付テ、常ニ此者ガ出ルト云
フ關係デハゴザイマセヌ、市町村ニドノ位ノ陪審員候補者ガ
定メラレカト云フトハ、正確ニハ申上デラレマセヌデゴザ
イマスガ、大體ノ今日ノ見込ヲ申シマスト云フト、陪審員ノ
評議ニ付スベキ事件ハ、一ヶ年大體三千四百件ヲウツ考ヘ
テ居リマス、サウシテ假ニ之ヲ三千五百件ト見マスト云フト、
一件ニ付テ三十六人ヲ呼ビ出シマスカラ、全國一箇年ニ
十二万六千人ノ陪審員ガ出ル譯ニナリマス、サウシマス市
町村ノ數ガ一万二千二百八十八マスカラ、之ヲ平均ニ割當
テテ見マスト云フト、十二人強デ足リル譯デアリマス、一町
村ニ併シ是ハ唯、市町村ノ數ニ平均ニ割當タノデアリマ
シテ、先程モ申シマシタ通り、陪審員有資格者ノ數ヲ標準ト
シテ割當テナケレバナリマセヌカラシテ、市町村ニ依ッテ無論
數ハ異ナルノデアリマス、併シ結局普通ノ市町村ハ十四五
人或ハ二十人位ノ陪審員ガ割當テラレルコトニナルト考ヘ
マス、其者ガ事件ノアリマス毎ニ、順次一人ヅツ呼出シマ
スル斯ウ云フ關係ニナリマス

○橋本辰二郎君 有資格者ノ數ニ應ジテ陪審員ノ候補
者ヲ定メルト云フトニナリマレバ、東京府下ノ如キ東京市
ガ澤山ナ人口ヲ包容シテ居、郡部ノ人口ガ極メテ薄弱
ナ所ニ於キマシテハ、陪審員ノ大部分ハ、市ノ占有スルモ
トナルノ私ハ傾キガアラウト思ヒマスガ、ソレデモ差支ナイノ
デアリマス

○政府委員(林賴三郎君) 有資格者ノ數ニ按分シテ割
當テルト申シマシタコトハ、大體ノ原則ヲ申シタニ過ギマセ
ヌ、ソレハ唯實行上サウ云フ積リデ居ルト云フデケノコトデ、
法文ニ特ニソレヲ加ヘタル次第デハゴザイマセヌ、ソコデ原則
ハ左様ニシナケレバナラスト考ヘマスガ、若シ今御尋ノヤウナ
コトガ却ッテ陪審員ガ或ル地方ニ獨占セラレルト云フヤウナ
コトガアリテ致シマスレバ、ソレハ適當ニ地方裁判所ガ按排
スルコトガ出來ルヤウニナ、テ居リマス、其邊ハ實際ノ事情

ニ合フヤウニ、地方裁判所長ガ選定シマス、サウシテサウ云フ
弊ノナイヤウニスルト云フトニ考ヘマス

○委員長(公爵二條厚基君) 外ニ御質問ガナケレバ先ニ
進ミマス、第三章ニソレデハ少シ數ガ多イデアリマスガ、
三十五條カラ五十九條マデ、詰リ第三章ノ第一節全部ニ
付テ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河村讓三郎君 公判準備ハ事件ノ進行ヲ圖ル爲ニ開
クト云フトモ一ツノ理由デアルト思ヒマスガ、ソレデ受命判
事ガ一人デ之ヲ開クト云フトニ付テ、簡便ヲ圖ルコトニ依
テ、ト云フトニ考ヘテ居リマスガ、此案デハ矢張り定數ノ判
事ガ出席シテ裁判ヲナスト云フトコトニナッテ居リマスガ、先
キノ方ノ規定ヲ見マス、場合ニ依ッテ直チニ公判ニ掛ケルト云
フ便宜ハアリマスケレドモ、準備手續ト公判トノ間ニ、ドレデ
ケノ違ガアリマスガ、其關係ガ了解シ兼ねマスカラ...

○政府委員(林賴三郎君) 準備期日ハ主トシテ公判ニ
於テ取調ベキ證據ノ準備ヲスルコトニナリマス、事件ニ付
テ如何ナル證據調ベヲ必要トスルコト云フトハ、合議裁判
所デ一人ノ受命判事デ決スルト云フトハ適當デナイ、證據
調ベノ範圍ト云フトハ、刑事デモ民事デモ裁判所ガ之ヲ決
メル、是ハ銘々ノ觀察モ違ヒ、意見モ違ヒマスノデ、一人デ決
メマスト外ノ者ガ満足シナイト云フトニナリマス、ソコデ公
判期日ニ於テ完全ニ準備ノ目的ヲ達セントスレバ、判事ハ
定數ノ者ガ出テ、サウシテ相談ヲスルコトガ適當デアラウト
云フトカラ、定數ノ判事、檢事、辯護士ノヤウナ者ガ、總テ
列席シテ準備ニ付テ相談ヲスルト云フ主義ヲ採リマシタ、公
判ノ方ハ所謂口頭辯論主義デ審議ヲシマシテ判決ヲスル
コトニナリマス、全然關係ハ違ッテ居リマス

○河村讓三郎君 此準備手續ハ公開シナイノデスカ
○政府委員(林賴三郎君) 左様デゴザイマス
○橋本辰二郎君 ドウ云フ譯デ、是ハ公開シナイノデスカ
○政府委員(林賴三郎君) 此準備手續ハ先程申シマシ
タ如ク、普通ノ公判手續トハ違ヒマシテ、公判手續ニ於テ取
調ベキ準備ヲ致シマス、ソレデアリマスカラ所謂膝組デ隔
意ノナイ協議ヲ致シマシテ、斯ウ云フ關係デアラカラ、斯ウ云
フ證據ヲ調ベヤウト云フヤウナコトヲ熟議ヲ達デテ、サウシテ
關係人ガ満足スル所ニ於テ之ヲ定メルト云フトガ、事柄ノ
性質ノ上カラ必要デアリマス、所ガ公開ヲ致シマスト免角形
式的ニナリマシテ、熟議ヲ達デルト云フトガ行ハレ惡イ、ソ
レデ無用ノ證人ヲ調ベテ費ヒタイト言フタリ、色ニナ實際
ニ適シナイヤウナ事柄ガ起、テ來ル虞レガアリマス、サウ云フ
次第デ、準備ノ目的ヲ完全ニ達セントスレバ、矢張り内輪同
士ノ水入ラスデ相談スルコトガ適當デアルト云フ所カラ、公
開シナイト云フトニ定メマシタノデゴザイマス

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ先キ(進ミマス、第二節第六十條カラ第六十八條ヲ一括シテ議題ニ供シマス)

○花井卓藏君 六十五條ノ第三項忌避ノ順序ヲ檢事ヲ先キニシテ被告人ヲ後ニスル理由ハ、ドウ云フ點ニ存スルノデスガ、被告人ヲ先キニシテ檢事ヲ後ニスルト云フノガ當然デナイデセウカ、及ビ此通りノ立法例アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(林頼三郎君) 檢事モ被告人モ訴訟當事者トシテ大體同シ地位ニ立ッテ居ル、ドチヲ先キニスルカト云フコトニ付イデハ、人ニ依ッテ多少考ハ違フト思ヒマスガ、併シ從來ノ總テノ法規等ニ於キマシテモ、檢事ト被告人ノ場合ハ、特ニ此被告人ヲ先キニシナケレバナラヌ理由ノアルノハ別デアリマスガ、サウデナイ限りハ檢事被告人ト云フ順序ニ行ッテ居リマス、六十五條ノ三項デ、檢事ヲ先キニスルト云フコトニシタノモ、ソレダケノ理由デアリマス、特別ノ理ハナイノデアリマス、外國ノ立法ハ今チヨット覺エテ居リマセヌ、矢張り大體斯様ナコトニナッテ居ルコト考ヘテ居リマス

○花井卓藏君 英米デハ檢事ニ忌避ヲ與ヘテ居ルノデスカ

○政府委員(林頼三郎君) 今空デ覺エテ居リマセヌガ、必要ナラバ調ベテ申上ゲタイト考ヘマス

○花井卓藏君 被告人ノミニ忌避權ヲ與ヘテ居ル制度ハアリマセヌカ、私ハアルト思ヒマスガ……

○政府委員(林頼三郎君) 歐羅巴デハナイヤウニ考ヘテ居リマス

○花井卓藏君 英米ハ如何デスカ

○政府委員(林頼三郎君) ソレハ先程申シタヤウニ、必要ガアルナラ取調ベテ申上ゲマス

○河村讓三郎君 檢事ハ忌避スルコトモ出來、管轄裁判所ヲ變更スルコトモ出來ルト云フ兩様ノ便宜ヲ持ッテ居ルノデスカ

○政府委員(林頼三郎君) 管轄裁判所移轉ノ方ハ、裁判所ヘ請求スル權利ガアリマステケデ、檢事ノ勝手ニ移轉ハ出來ナイコトニナッテ居リマス

○河村讓三郎君 請求スル權利ハ檢事ハ持ッテ居ル、被告人ハ持ッタイ

○政府委員(林頼三郎君) 左様デゴザイマス

○河村讓三郎君 ソレカラ六十四條ノ規定、是ハ御説明ヲ願ハヌト私共ニハ諒解シ兼ねマスガ、此規定ト云フモノハ實際ドウ云フヤウニ行ハレマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 此六十四條ノ關係ハ、即チ陪審員ハ原則トシテ十二人、事件ニ依テハ一人若クハ二人ノ補充陪審員ガ加ハル、斯ウ云フ關係デアリマス、ソコデ三十

六人陪審員ヲ呼出シマスガ、或ハ場合ニ依テハ缺席スル者モアルト考ヘマス、常ニ三十六人出ルト云フコトハ認メルコトハ出來ヌノデアリマス、ソコデ陪審員及ビ補充陪審員ノ數ガ、一方ニ於テ十二人ナリ或ハ十三人ニト云フコトニ極リマス、サウシマスルト、其餘ノ陪審員ト云フ者モ訴訟當事者ガ忌避スルコトガ出來ル、其忌避權ハ檢事ト被告人ガ平等ニ持ッテ居ル、併シ若シ陪審員ノ數ガ奇數デアレバ、被告人ノ方ニ一人ダケ餘計ニ忌避スル權利ヲ與ヘルノデアリマシテ、實際的ニ申シマスルト三十六人アルト見マス、サウスルト二十四人ダケハ檢事及ビ被告人ニ於テ忌避シ得ベキ範圍ニアル、半數ヅ、アリマススル、檢事ハ十二人被告人ハ十二人はダケハ忌避ガ出來マス、然ルニ補充陪審員ガ一人必要デアルト云フコトデ、十三人陪審員ヲ要スルコトニナリマス、被告人ハ十二人ヲ忌避スルコトガ出來、檢事ハ十一人ヲ忌避スルコトガ出來ルト云フコトニナリマス、此關係ニ於テハ被告人ニ忌避權ト云フモノハ多ク與ヘテアルノデアリマス、第二項ノ方ハ被告人ガ數人アル、例ヘバ二人ガ共犯デ罪ヲ犯シマシテ、被告人トシテ起訴サレルト云フヤウナ場合ニ於テハ、被告人ヲ一ツノ單位ト見テサウシテ、二人ノ被告人ヲシテ共同被告トラシメル、即チ今ノ例デ、申シマス、十二人ダケ忌避スル權利ト云フモノハ、被告人ハ二人アッテモ被告人側ノ忌避權ノ數ハ變リマセヌ、即チ檢事ト被告人ト云フモノハ平等ニ有シテ居ル、サウシテ被告人ノ共同行使ニ付テハ其被告人ガ合議ヲシマシテ、或ハ甲ノ被告人ニ委ネル、乙ノ被告人ニ委ネル、或ハ辯護人ニ委ネル、或ハ一々相談シテヤルト云フコトハ、被告人ニ任セルノデアリマステレドモ、被告人ノ意思ガ一致シナイト云フコトヲ、時トシテハナイト限ラヌ、ソコデサウ云フ場合ヲ慮リマシテ、被告人ニ於テ忌避權ノ共同行使方法ヲ定メテ意見ガ一致シナイ時ニハ、裁判長ニ於テ適當ナ方法ヲ定メル、即チ例ヘバ意思ガ一致シナケレバ、辯護人ニサセル或ハ抽籤ニ依ッテヤルト云フヤウナ、各場合ニ適應スル方法デ、裁判長ガ指定シマシテ之ニ依ッテ、忌避權ヲ行ハシメルト云フコトガ、大體ノ趣意デアル

○河村讓三郎君 モウ一度伺ヒマスガ、忌避ハ原因ヲ定メテアリマセヌカラ、只理由ナシニ、忌避スルト言ヘバ宜イヤウニ解釋イタシマス、サウシテ唯今仰セノアリマシタ十二人ノ陪審員ハ、一人ノ補充員ト十三人デスガ、段々省イテ行ッテ、十三人ダケ殘ル、其十三人ノ中ニ忌避シタイト云フモノガ加ハッテ居リマス、モウソレハ出來ナクナリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 法律デ認メタ忌避權ノ行使ヲ、全部行使シ盡シタ後ニ於テ、尙ホ不満足ノ人ガアルト云フヤウナコトハ、假ニアリトシマシテモ、サウ云フ場合ニハ致方

ガナイコトニナリマス、併シ實際サウ云フコトハ、先ヅアルマイト考ヘテ居リマス

○河村讓三郎君 忌避ノ理由ニナラヌカ

○政府委員(林頼三郎君) 忌避ノ理由ヲ陳述スルコトハ出來ナイト云フコトニ、六十五條デ定メテアリマス

○富谷銈太郎君 此忌避ハ、被告人ノ辯護人、ニハ許シテナイノデアリマセウカ……シテアルノデアリマス、被告人ガ辯護人ニ委ネルコトハ出來ルノデアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 辯護人ノ權限ハ刑事訴訟法ニ定メテ居リマス、辯護人ハ被告人ノ意思ニ反セザル限り、忌避權ヲ行ヒマス

○富谷銈太郎君 チヨット是ハ伺フベキコトデハナイト思ヒマスガ、刑事訴訟法ノ問題デアリマセウカ、刑事訴訟法ニ於テハ、辯護人ハ被告人ノドウ云フ……代理人ト見テ居ルノデアリマス、ソコハドウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、チヨット其コトヲ序ニ……

○政府委員(林頼三郎君) 現行刑事訴訟法デハ、規定ノ上ニ於テ辯護人ノ地位ガ十分明カデナク、從テ一致イタシテ居リマセヌガ、改正刑事訴訟法ニ於キマシテハ、辯護人ハ原則トシテ代理人ヲ持ツ、獨立權ヲ持ツ場合ニ、一々明文ヲ設ケルト云フ趣意ニナッテ居リマス

○委員長(公爵二條厚基君) 御異議ガナケレバ、午後一時カラ、再開イタシタイト思ヒマス

午後一時二十六分開會

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ午前ニ引續キマシテ、開會イタシマス、第六十九條カラ第七十五條ヲ一括シテ審議シタイト思ヒマス

○河村讓三郎君 七十二條ノ中ニハ豫審調書ト云フノガ這ッテ居リマセヌデセウカ

○政府委員(林頼三郎君) 七十二條ニハ豫審調書ハ這入ッテ居リマセヌ

○河村讓三郎君 ソレハドウ云フ理由デゴザイマス、總テ直接審理主義ヲ採ッタモノデアッテ、書面ニ依ル證據ハ採ラヌト云フ趣意ナノデアリマスカ

○政府委員(林頼三郎君) 御尋ネノ點ハ全ク今仰セノ如ク、直接審理ノ原則ヲ採リマシタ結果豫審調書ハ原則トシテハ證據方法トシテ認メナイノデアリマス、七十三條ニ掲ゲテアリマス、一カラ三ノ場合ニ於テ例外トシテ證據方法トスルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス

○松室致君 チヨット私モ御質問イタシマスガ、此證人若クハ被告人ガ公判廷ニ至ッテ、豫審デ言ッタコロヲスカリ續

ヘスソナ時分ニハドウナルデセウ、矢張り豫審調書ハ御取
リニナリマスマイカ

○政府委員(林頼三郎君) 御尋ネノ場合ハ七十三條ノ
第二項デゴザイマス、被告人又ハ證人公判外ノ訊問ニ對シ
テ爲シタル供述ノ重要ナル部分ヲ公判ニ變更シタルトキト云
フノゴザイマスノデ、御尋ノ場合ハ之ニ當ルコト考ヘマス
○委員長(公爵二條厚基君) 御質問ガナイヤウデアリマ
スカラ、更ニ先ニ進ミタイト思ヒマス、第七十六條カラ第九
十四條ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○河村謙三郎君 七十九條ニ付テ何デ置キマスガ、裁判
長ノ問ト云フノ上主問ト補問トニ限定シテアリマスガ、是ハ
外國ノ立法例ノ上ニ於テ其範圍、問ノ範圍ヲ定メテアリマ
ス、其規定ニ較ベテ、狭イトカ廣イトカ此區別ヲ御設ケニナ
タノデアリマスカ、事件ノ種類ハ多少制限サレテアルノデ、問
ニ付テハ凡テ是ガ何處デモ行ハレテ居リマス例ガ此通りニ
ナテ居リマスカ、或ハ少シ變タ例モアルノデアリマスカ、何
カ御取調ニナタモノガアリマスレバ參考ノ爲ニ何デ置キタ
イト思ヒマス

○政府委員(林頼三郎君) 問ノ出シ方ニ付キマシテハ各
國ノ制度ガ區々ニナテ居リマスノデ、此大要ヲ申上ゲテ見
マスト云フト、主問ノ補問ノ外ニ副問ト云フモノヲ認メテ居
ル國ガアリマス、ソレハ主問ハ犯罪構成事實ノ有無デアリマ
ス、副問ト云フ方ハ犯罪ノ情狀即チ形ニ影響スベキ事情、
補問ノ方ハ公判ニ付セラレタ事實ト異ナリ犯罪構成ノ有
無、斯ウ云フヤウナ大體ノ分類ニナリマス、副問ニ付キマシテ
ハ國々ニ依リマシテ、其範圍ニ廣狭ハアリマスレドモ、大體
ニ於テ副問ニ屬スベキ或事項ニ付テノ問ヲ出スコトハ各國
ノ制度ガ認メテ居リマス、併シ此法案ニ於テハ犯罪ノ情狀
ニ關スル問題ハ一切陪審ノ評議ニカケナイ、斯ウ云フ主義
ヲ採リマシテ、ソコデ主問ト補問トダケヲ認メテ副問ハ認メ
ナイト云フ關係ニナテ居リマス、何故副問ヲ認メナイカト申
シマスト、色々ノ理由ガアルノデアリマスガ、其主ナル事情
ハ、此法案ニ於キマシテハ、茲ニモ申上ゲマシタ通り、最も大
切ナル利害關係ノ大ナル事情ニ付テ陪審ノ評議ヲ求メル、
比較輕イモノデアルトカ、或ハ又純粹ノ素人デハ判斷スル
ノ適當デナイ、或ハ弊ガ生ズルヤウナコトハ陪審ノ評議ニ
カケナイト云フ主義ヲ採テ居リマス、ソコデ其方面カラ申シ
マシテモ、法律デ刑ノ範圍ト云フモノガ段々ニ廣ク定メテア
リマシテ、其範圍内ノ位ノ所ガ適當デアアルカト云フコト
ハ、是ハソレニ關スル知識經驗ノアル者デナイ適當ノ判斷ガ
出來ナイト云フヤウナコトガ、今一ツハ殊ニ日本ノ刑法
ニ於キマシテハ、刑ノ範圍ガ非常ニ廣クナテ居リマス、御承知
ノ通り窃盜ト致シマスレバ一月カラ十年マデノ範圍、殺人ナ

ラ三年カラ死刑マデト云フヤウナコトニナテ居リマス、外國
ノ刑法ハ概シテ刑期ト云フモノハ非常ニ刻シデアリマス、殺
人ナラ死刑、若クハ死刑或ハ無期刑ト云フヤウナ風ニ狹
クナテ居リマス、所デソレヨリモ輕ク罰スルヤウナ事情ガ
アリハセヌカドウカト云フコトノ疑ノ起ルヤウナコトガ隨分ア
リマス、サウ云フ場合ニ其情狀ニ付テ陪審ノ評議ニカケル、
陪審ガ情狀アルト云フ時ニ法律デ定メタ刑ノ以下ニ下シテ
處分スルト云フヤウナ必要ガ起テ來ルノデアリマス、日本ノ
刑法ニ於キマシテハ、今申シマス通り刑ノ範圍ガ非常ニ廣
イノデアリマススカラ、ソレ以下ノ事情ガアルカドウカト云フヤ
ウナコトハ是ハモウ何人ガ考ヘテ明白デアラウト思フ、ソレ
等ニ付テ特ニ陪審ノ評議ニカケルヤウナ必要ガナイト云フ
風ナコトモアリマス、色々ノ理由カラ副問ト云フコトハ此法
案ニ於テハ採リマセヌ、ソレガ大體此七十九條ノ出來マシ
タ關係デアアルノデアリマス、尙ホ問題ニ付テ外國ノ法制デ少
シ違ヒマスノハ、犯罪構成事實ニ付キマシテモ犯罪構成事
實ニ御承知ノ通り犯罪ニアリマシテハ、澤山ノ犯罪ガ寄
テ一ツノ事實ニナリマス、國々ニ依リマシテハ各箇々ノ事實毎
ニ意見ヲ聽ク所モアリマス、ソレカラ概括シテ意見ヲ聞ク所
モアリマス、此法案ニ於テハ箇々ノ事實ニ分ケナイ、先ツ概
括的ノ問ヒヲ出スコト云フコトニマア原則ヲ置キマシテ、唯
其中デ犯罪ノ成立ヲ阻却スル原因トナルベキ事實、即チ正
當防衛トカ緊急避難デアアルトカ云フヤウナ特殊ノ事實ノ有
無ニ付テ疑ヒガアルヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレダケハ別
ノ問ヒトシテ出ス、斯ウ云フヤウナコトニ致シマシタ、大體右
ニテ御諒承ヲ願ヒマス

○河村善益君 只今ノ御説明ニ依リマスト云フト情狀酌
量ノ要否ハ陪審ニ問ハヌコトニナテ居リマス

○政府委員(林頼三郎君) 左様デゴザイマス

○河村善益君 是ハ即チ日本ノ刑法ハ他ノ刑法ト違フデ
範圍ガ廣イカラ其必要ハナイト云フ御趣意デスカ

○政府委員(林頼三郎君) 全ク其通りデアリマス

○河村謙三郎君 尙ホ同ジコトデアリマスガ、執行猶豫ヲ
スルヤ否ヤト云フコトハ刑ノ範圍ニ係ラナイ事情デハナイカ
ト思ヒマスガ、サウ云フコトニ付テ問フ必要ハナイデゴザイマ
セウカ

○政府委員(林頼三郎君) 執行猶豫ノ事情等ニ付テモ
他ノ犯罪ノ情狀ト同ジヤウニ陪審ノ評議ニ附スルガ適當デ
ナイト云フノデ、此法案ニ於テハ評議事項ノ範圍ニ入レマセ
ヌ

○花井卓藏君 速記ハ要リマセヌガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 英吉利ニ於キマシテ實際
〔速記中止〕

ニヤテ居リマス、陪審ニ對スル説示ノ模様ヲ説明セヨト云
フ仰セデアリマスガ、刑事民事トモ屢、實際ニ就テ聽キマシ
タノデアリマスガ、大シタ變リハナイヤウニ思ヒマス、事件ノ取
調ベカ終リマスレバ、直ニ裁判官ガ立テ説示ニ這入ルノデ
アリマス、大體ノ様子ハ刑事ニシマシテモ、民事ニシマシテモ
詰リ問題トナテ居リマスル事項ノ要點ヲ、本件ハ斯ウ斯ウ
云フ事件デアラデ、斯ウ云フ點ガ問題トナルト云フコトノ要領
ヲ掲ゲマシテ、ソレカラ之ニ付テハ原告側デハ斯ウ云フ風ニ
主張シテ居ル、被告側デハ更ニ之ニ付テスウ云フ風ニ主張シ
テ、ソレデ斯ウ云フ點ガ争點トナテ決スベキ問題ニナルノデ
アル、デ之ニ付テ原告側ノ出シテ居ル證據ハ是々デケデア
ル、被告側ノ出シテ居ル證據ハ是々デケデアアル、デ是等ノ
點ヲ斟酌シテ決定スベキデアルガ、例ヘバ此證人ノ陳述ハ判
事ノ自分トシテハ斯ウ云フ點ニ多少考慮ヲ要スベキ點モア
ルト云フヤウナコトマデモ申シ聽ケマシテ、サウシテ最後ニソ
レデ以テ此問題ヲ如何ヤウニ決スルカト云フコトハ、無論事
實ノ裁判ヲスル所ノ陪審員ノ專權ニ屬スルモノデアアルト云
フコトヲ申スヤウデアリマスルガ、中ニハ大分立入りマシテ、
例ヘバ一ツ聽キマシタ事件ハ、遺贈ノ無効ヲ主張スル事件
デ、コチカラ申シマスレバ、一種ノ相續爭ヒデアリマシタガ、隨
分大勢ノ證人ノ原告側、被告側カラ出テ居リマシタ、ソレハ
多クハ親類關係ノモノガ多ウカトデアリマス、デ、ソレニ付
テ斯ウ云フ訴狀ニ於テハ人證ト云フモノニ付テハ餘程是ハ
考慮ヲ拂ハナケレバナラス、主トシテ證書トカ、其外ノ詰リ物
證ニ基キテ考テ決メル方ガ安全デアル、斯ウ云フ訴狀ニ付
テノ證人ノ證言ト云フモノハソレ等ト對照シテ、餘程考テ運
サスト、誤ルコトガアルト云フヤウナコトマデ説示シタ例モア
リマシタ、大體ハ先ツ左様ナ有様デアリマシテ、此事件ノ關
係、ソレカラ争點、詰リ決スベキ問題、ソレカラソレニ出テ居
ル所ノ證據ヲ採ル、採ラヌト云フコトニ付テ、特別ニ注意ヲ要スル
事項ガアリマスレバ、其判斷ノ資料トシテ參考ニシナケレバ
ナラスヤウナ事情モ加味シマシテ、サウシテ説示スルヤウデ、
アリマス、ソレデアアルカラ、サウ云フ場合ニ、特ニ自分ハ斯ウ云
フ風ニ見ケレドモ、無論陪審官ハ自分ノ獨立ノ信ズル所
ニ依テ、獨立ニ如何様ニモソレヲ決スベキモノデアアルト云フ
コトヲ念ヲ押スノデアリマスガ、自分ノ見ル所デハ此證據ニ
付テハ餘程注意スベキモノデアアルト云フコトヲ説示スベキモ
ノデアアルト云フ説示のヤウニ承知シテ居リマス

○松室致君 私が承知スル所ニ依ルト、佛蘭西トカ獨逸
トカ云フヤウナ處ノ陪審ハ免角間違タコトガ多イト云フテ
非難ガ大分アテ、獨逸ノ如キハ陪審ヲ止メヤウト云フ協議
マデモアッタト云フコトデアリマス、英吉利トカ、奧太利トカ云

フ處ハ割合ニ非難ガ少ナシ、ソレカラ又獨逸ノ參審ノ如キハ却テ好結果ヲ奏シテ居ルコト云フコトニテ居ルサウデアリマス、ドウシテ同ジ陪審デアリテソナニ國ニ依テ結果ガ違フコト云フコトヲ裏面カラ考ヘテ見ル、英吉利デハ唯今御説明ノ如ク此說示ト云フモノハ餘程深クマデ入テ、殆ド裁判官ノ考ヘテ居ルコトヲ能ク陪審員ニ諒解サシテ、サウシテ其陪審員ガ多クハ裁判官ノ云フコトヲ能ク聞イテ、其通リニ服從シテ行クカラ結果ガ好イノデアル、ソレカラ又莫太利デハ、確カ此陪審ノ評議室ニ他ノ國デハ裁判官ハ入ルコトハナラナイノデステレドモ、莫太利デハ裁判官ガ入テ矢張其評議ヲ聞クコトヲ許シテ居ルコト云フコトデ、從テ其處デ又實地ニ付テ色々説明スルカモ知レナイ、是ハ公デナイカラ能ク分リマセヌケレドモ、入テ行ク以上ハ何カ言フカモ知レヌト云フ想像ガ付クノデアリマス、從テ其言フコトヲ聞クカラ結果ガ好イノデアル、ソレカラ又獨逸ノ參審ハ裁判官ト一所ニ評議スルノデアリマス、從テ其言フコトヲ聞クコトヲ能ク聞イテ之ニ從フカラ結果ガ好イノデアリマス、斯ウ云フ豫想ガ出來ルヤウニ思ハレ、サウスト日本ノ今將ニ作ラムトスル法律モ矢張り英吉利ノヤリ方ヲ採テヤッタ方ガ宜クハナカト云フヤウナ考モ浮ブノデアリマス、私ハ其點ハ能ク調ベテ居リマセヌ、人ニ聞イタダケデアリマス、此處ニ案ヲ提出スルコト云フ程ノ確信ヲ有タヌノデアリマス、當局者ハ其點ヲ能ク御調ベニナテ居ラウト考マス、此點ニ對スル御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 段々御話ヲ承リマシテ、大體左様ナコトニテ居ルト云フコトハ、承知イタシテ居リマス、御承知ノ通り英吉利デハ立入テ此說示ヲ致スノデアリマス、佛蘭西デハ此說示ト云フコトガナイヤウデアリマス、又獨逸系デハ法律關係ノミハ、說示シマセケレドモ、事實關係及證據關係ニ付テハ、說示ハシマセヌト云フヤウナコトニテ居リマス、ドウモ其兩方ノ極端ニ走テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、ソコデ此法案ニ於キマシテハ、其中間ヲ取リマシテ、法律問題ノミナラズ事實ノ論點ニ付テモ能ク說示スル、又證據ノ要領モ說示スル、其處マデハ說示ヲシナケレバナラヌ、併ナガラ苟モ素人ノ常識上ノ判斷ト、專門家ノ判斷トノ二ツノ判斷ヲ手續上デ認ムルト云フ主義ヲ執ツタ以上ハ、矢張素人ハ素人トシテ判斷ヲ執リ、專門家ハ專門家トシテ判斷ヲ執ルト云フコトニ致スノガ、此陪審制度ヲ執リマス上ニ於テ主義トシテ適當デアラウト云フ所カラ、裁判官ノ判斷ト云フモノハ全ク表示シナイ、事實ニ付テノ判斷ハ全ク此裁判官ノ頭ヲ交ヘナイ、陪審員ノ頭デケテ之ヲ表示スル、是ガ適當デアラウト云フコトニナリマシタノデアリマス、併シナガラ若シ說示ガ不充分デアデ、ドウモソレダケ

デハ評議ヲシテ見タ所ガ分ラヌ點ガ出來ルト云フコトナラバ更ニ說示ヲ求メル手續ハ設ケテアリマス、サウニ云フヤウナ大體ノ趣意カラ此七十七條ガ定メラレタ次第デアリマス、矢張り此邊ノ所ガ適當ノ結果ヲ收メルデアラウト云フコトニ考ヘテ居リマス

○松室致君 所ガモウ一ツ御尋シマス、若シ此實際ニ於テ入リ、此事實若クハ證據ノ說示ヲスル時分ニ裁判官ガ少シ深入リヲシタラバ、ソレガ矢張上告ノ理由ニナリマス、○政府委員(林賴三郎君) 御尋ノ場合ニハ上告理由ニナルコトニテ居リマス、ソレハ第四百四條ノ第五項ニ當リマス

○松室致君 併シハ何處マデモト云フコトガ中々ムツカシイヤウニナテ居リマス、例ヘバ只今デモ上告ノ手續ニ契印ガナイ、ソレダカラ此裁判ハ破棄ノ原因ガアルト云フ上告ヲスル、陪審員ハ事實ニ反スルコトハ出來ナイト云フコトニテ居ル、目下ノ法律デハ陪審員ハ必ズ契印ガアルカナイカラ自分デ調ベテ、自分ノ調ベタ事實ニ依テ判斷ヲシテ、是ハソレダカライカナイ、成程契印ガナイカライカナイ、斯ウ云フ判斷ヲシテ居ル、ソナコトハ隨分多イヤウニ思フ、例ヘバ判決ニ署名シテ居ル、判事ガ其日ハ缺席シテ居ル、公判ノ日ニハ缺席シテ居ル、其人ガ缺席シタ日ガ分テ居ルト云フコトモ、時々稀ニハアルコトノヤウデス、其結果シテ缺席シタカドウカト云フコトハ、調書其他ニ付テ缺席シタルヤ否ヤト云フ事實ヲ決メナケレバナラヌコトデスカ、法律上ハ陪審員ハ其所ニ立入ルコトハ出來ナイヤウニナテ居ルノデステレドモ、實際陪審員ガ其有無ヲ調ベ、サウシテ判斷ヲシテ居ル、サウシテ見ルト矢張り是モ說示ノ深淺ト云フモノハ、何處マデ行ケバ法律ニ違反スルカト云フコトハドウモ餘程實際ニ於テ困難デアリシ、又ソレヲ餘程擴張テ行クト云フコト隨分破棄ニナル事件ガ多クナラウト思フノデス、ダカラ寧ろ是ハ英吉利ノ主義ニ從テ深ク入ルコトヲ、入ラナケレバナラヌト云フ法律ハ作ラレマス、破棄ノ原因ニナラナイヤウニ規定シテ置イテハ如何デセウカ、其點ニ付テ御意見ヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 今御尋ネノ點ハ一ツノ御意見トシテハ承リマス、併ナガラ先程申シマシヤウナ精神カラシテ說示ト云フモノノ範圍ヲ適當ニ制限イタシマシテ、其範圍ヲ越エルコトハ適當デナイ、斯ウ云フコトニ定メマシタ以上ハソレヲ遵奉スルコトハ當然ノコトデアリマス、之ニ明白ニ反シテ居テモソレハ攻撃スルコトヲ許サナイト云フコトハ其主義ヲ執ツタ精神ニ合ハヌト考ヘマス、矢張り是ハ苟シクモ斯ウ云フ制限ヲ設ケタ以上ハ之ニ反スル場合ニ於テハ當事者ハ攻撃スルコトガ出來ルト思フ、ト云フコトニシマセヌデハ制度トシテ適當デナイカト考ヘマス、殊ニ說示ガ行キ過ギタカラ適當ノ程度ニ止テ居ルコト云フコトニ付テ、疑ノ起ルコトモ絕對ニナイトハ勿論申シマセヌケレドモ併ナガラ證據力ニ付テノ判斷ヲ表示シナケレバ、證據ノ内容ニ付テ如何ニ詳細ニ說明シテモ勿論宜シト思ヒマス、ソレハ固ヨリ法律ノ欲スル所ナノデアリマス、證據ノ内容ノ說明デアルトカ、其信憑力ニ付テノ判斷ノ表示デアルトカ云フコトハ、先ヅサウ疑ハシイコトハ起ルマイト考ヘテ居リマス、政府トシテハ矢張り此原案ノ如ク法律ヲ立テルノ適當デアルト考ヘテ居リマス

○富谷銑太郎君 八十條ノ第一項ノ說明ヲ願ヒマス

○政府委員(林賴三郎君) 問ハ裁判長ガ必要ト認メテ之ヲ決シテ出スノデアリマス、併ナガラ陪審員其他訴訟關係人カラ見ルト云フコトガ不十分デアルト考ヘル譯ニハ行カヌト思フ、即チ問ノ増加ヲ求メ、或ハ問ノ撤回ヲ求メル、或ハ問自體ノ變更ヲ求メルト云フヤウナコトモ想像シ得ナイノデアリナイノデアリマス、問ニ付テハ裁判長ガ問イタ切リデ訴訟關係人、陪審員等ハ何等ノ申出ヲスルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ實際ニ適當デナイト考ヘマス、一例ヲ申シマスレバ檢事ナリ辯護人ナリハ、ドウモ是ハ犯罪ノ成立ヲ阻却スル原因トナルベキ事實ヲモ表現スル必要ガアラウト考ヘル、サウ云フ場合ニ裁判長ガ問イタ切リデ、何等ノ申出ガ出來ナイト云フコトニナルトハ不都合デアラウト思フ、サウ云フ次第變更ノ申立ヲスルコトノ權利ヲ此第一項デ認メタ次第デアリマス

(速記中止)

○副委員長(河村謙三郎君) 九十五條カラ百條マデ：：○花井卓藏君 第九十七條ニ書イテアル事實ノ判斷、第一項ニ書イテアル事實ノ判斷、第二項ニモ「事實上ノ主張アリタルトキハ之ニ對スル判斷ヲ示ス」ト云フ判斷、適ッテ第一條ノ「事實ノ判斷ヲ爲スコトヲ得」、事實ノ判斷、是ハ現行刑事訴訟法ノ九十條ノ判斷ト云フ字ト意義ハ同ジデアリマス

○政府委員(林賴三郎君) 現行刑事訴訟法ノ判斷ト云フ意義ニ付テハ論ガアルカモ知レマセヌ、私一個ノ私見ヲ申シマスレバ、此法ノ判斷トハ違ヒマス、此法ノ判斷ハ事實ノ有無ノ判斷、現行法ノ九十條ノハ證據力ノ判斷、一ハ證據ニ關シ、一ハ事實ニ關シ、其目的トスル所ハ違フノデアリマス

○花井卓藏君 サウ云フ問ヒデナイノダ、目的トスル所ヲ異ニスルガ故ニ判斷ノ意義ガ違フト云フコトナラバ、ソレハ御答ノ通り問フ者モ其通りノ意味デアリマス、問フ者ノ趣旨ハ判斷ト云フ字ハ異ナル所ナイカ、刑事訴訟法ノ九十條

ニ書イテアル判斷ト云フ字ト異ナル所ナイカト云フ、斯ウ云フ問ヒヲ發スルノダ

○政府委員(林賴三郎君) 文字自體ハ同様デアリマス、ドウカ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(公爵二條厚基君) ソレデハ速記ヲ……是デ以テ散會イタシマス、明日ハ午前十時ヨリ開クコトニ致シマス
午後三時九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵二條 厚基君
副委員長 河村 讓三郎君
委員

子爵酒井 忠亮君
子爵黑田 清輝君

松室 致君

河村 善益君

富谷 銓太郎君

内田 嘉吉君

湯淺 倉平君

橋本 辰二郎君

花井 卓藏君

國務大臣

司法大臣 岡野 敬次郎君

政府委員

司法省民事局長 池田 寅二郎君

司法省刑事局長 林 賴三郎君

大正十二年三月二十六日印刷

大正十二年三月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局